



庄原トピックス



半夏生福祉活動30年 JA女性部口和支部

JA女性部口和支部は、庄原市口和町で30年以上、見守り活動を続けています。半夏生の日にあたる7月1日には、部員17人が70歳以上の1人暮らし109人に手作りタワシや手紙などを届けました。

今年は、アクリル毛糸で編んだタワシを作成し、そのタワシで食器用洗剤を覆い、輪ゴムやリボンでラッピングしました。今年は梅雨明けが早く、気温の高い日が続き、熱中症など健康を気遣う手紙も添えました。



▲手作りのタワシと手紙を手渡す女性部員



野菜振興に向け活動を確認 比和町野菜生産組合

比和町野菜生産組合は6月24日、JA比和支店で通常総会を開き生産者や関係者12人が出席しました。令和7年度事業計画や役員改選など3議案を承認。会長には、渡邊耕三さんを再任しました。

総会後、ホウレンソウのべと病やホウレンソウケナガコナダニなどについて研修を行いました。生産者は、農薬のローテーションや効果的な散布、品種などについて意見を交換しました。



▲比和町野菜生産組合



「ふれあいマルシェ」好評

JA東城支店ふれあい委員会は6月13日、庄原市の同支店で「ふれあいマルシェ」を開きました。利用者や地域住民100人以上が訪れ好評でした。

同委員会は2024年から、ふれあいマルシェやふれあいカフェなどを企画して、利用者や地域住民との繋がりを深めています。合併したJA管内の特産品などを販売し、来店者に喜ばれています。

当日は、江田島市産キュウリの詰め放題、同市産ブルーベリーや倉橋町の「お宝とまと」などを販売しました。「東城きんさい市」はほうれん草のつかみ取りや玉ねぎの詰め放題などを企画しました。



▲キュウリの詰め放題をする来場者

支店ふれあい委員会



多数の商品を展示 総合展示会開催



▲電化製品を体験する来店者

6月21日、22日に、JA庄原支店で総合展示会を開きました。2日間で、約1,700人が来場されました。

各会場には寝具や電化製品、紳士服などの生活用品や小農具などを多数取り揃え、商品に関するみなさまからのご相談をお受けしました。JA青壮年連盟は「比婆牛」のハンバーグ、JA女性部はうどんと山菜おこわを提供し、大変好評でした。多くのみなさまにご来場いただき、ありがとうございました。

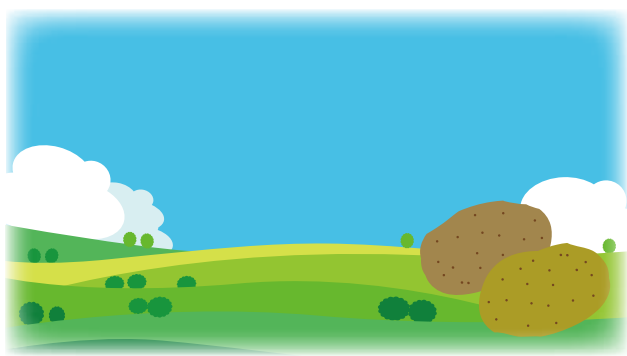
家庭菜園

庄原北部アグリセンター
藤谷 春樹



秋じゃがいも（ナス科）

夏から秋にかけて栽培する「秋じゃがいも」は、9月ごろに植え付け、11～12月に収穫できます。植え付けから約3カ月で収穫でき、果肉はホクホクで、煮物などにもってこいです。



植え付け
収穫

●秋じゃがいも栽培時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

●土作り

施肥量(kg/a)	適したpH5.0～6.0
堆肥	300
やさい有機189	1～1.5

*畝幅は70～80cm程度

ポイント

じゃがいもはアルカリ性に傾くとそうか病を発症するので、pHには気を付けましょう。



●植え付け

幅60～70cmの畝の中央に深さ5cm程度の植え溝を掘り、種イモを株間25～30cm空け置きます。10cm程度覆土を行ないます。植え付け後降水が無いようなら灌水を行なうと早く芽が出ます。また、逆さ植えで植え付けると、丈夫な株に育ちます。

ポイント

植え付け時期が早すぎると暑すぎて種イモが腐ってしまうので、8月下旬から9月上旬に行ないましょう。

●土寄せ

1回目の土寄せは、草丈が15cm程度になった頃に行ないます。生育を見て追肥が必要な場合は行ない

ましょう。
2回目の土寄せは、1回目の追肥から2～3週間経過したときに行ないます。土寄せが不十分だとイモが緑化する原因となります。

●収穫

地上部の茎葉が黄色くなり、枯れて倒れてきたら収穫の適期です。

●秋にお勧めの品種

デジマ	カレー料理などに最適
キタアカリ	甘味があり、身は柔らかい
ながさき黄金	ホクホクして、しっかりとした甘み

相性の悪い野菜

じゃがいもはナス科なので、ナス科を近くに植えると病害虫の発生を助長します。キャベツを近くに植えると、他感作用により生育が悪くなる場合があります。



Information お知らせ

農業労災保険にご加入ください

広島県では、毎年多くの農作業事故が発生しています。万が一の農作業事故に備え、対策が必要です。

次の条件のいずれかに該当する個人、法人が加入できます。

- 特定農作業従事者の方
- 指定農業機械作業従事者の方
- 中小事業主の方



加入条件などが異なりますので、詳しくは営農販売課（電話0824-72-5654）へお問い合わせください。



1日人間ドック健診のご案内

JAでは健康管理活動の一環として、1日人間ドック健診をおすすめしています。自身の健康状態を定期的にチェックすることにより、病気の早期発見・早期治療が可能となります。JAからの助成もありますので、是非この機会に健診を受けましょう。

■ **検査項目** 耳鼻科／甲状腺／肝臓・胆道系／腎臓／眼科／肺／心臓／胃／脾臓／下部消化管／その他

■ **実施日** お申込みの方へ後日、個別にご案内します。

■ **場所** JA吉田総合病院

■ **経費** 32,100円（組合員価格）

※オプション検査として、乳がん健診、前立腺がん健診、脳ドック健診、低線量肺CTなどもあります。

■ **対象者** JAひろしまの組合員世帯

■ **申込** 各支所・支店へ8月29日（金）までにお申込みください。

秋の農繁期 対応のお知らせ

各農機センター

9月13日（土）～10月13日（月・祝）まで
土曜・日曜・祝日も営業します。

JAグリーン庄原 JAグリーンこうぬ

通常通り営業します。

9月

の年金相談会日程

日付	会場
2日（火）	庄原支店
4日（木）	庄原支店
9日（火）	甲奴支店
11日（木）	庄原支店
16日（火）	庄原支店
18日（木）	庄原支店
25日（木）	庄原支店
30日（火）	比婆西城支店

開催時間 10：00～15：30

日本農業新聞・家の光三誌を 購読しませんか

日本農業新聞は農業情勢や農業者の所得向上、地域を活性化させる情報が満載です。『家の光』、『地上』、『ちゃぐりん』では日ごろ活用できる情報や身近な話題などを幅広く紹介しています。ぜひ、ご購読ください。

【購読料（税込み）】

- 日本農業新聞 3,100円（1ヵ月） 電子版2,403円（1ヵ月）
- 家の光 9,900円（年間）
- 地上 8,250円（年間）
- ちゃぐりん 6,600円（年間）

※家の光三誌は年間購読料（11月号から10月号）です。購読のお申し込みは、最寄りの支店へお願いします。